



WORK

tel.06-6746-2859(西日本) tel.048-688-7555(東日本)

<http://www.work-wheels.co.jp>



インナーリムは黒塗りにして、必要以上の増ひやかさを抑えている。

赤金のセンターキヤップも用意。この雰囲気こそがVIPの王道だ。

限定の鳳凰はVIP以外に似合うものなし



こちらはパフ仕様のWSS。メイン写真のブラッシュド仕様と比べ、遊びやかな印象。



精造の究極の造形美を追求したシェヴァートのレグニップ(左)とクワレル(右)。ジスタンスWSSとは対極的な雰囲気だが、この振り幅の広さもワークの魅力だ。

東

京オートサロンで精造による究極の造形美を表現した、新しい「シユヴァート」シリーズをお披露目したワーク。大阪オートメッ்சでは、VIPの原点回帰と言っても過言ではない、和風を行まいこそ最も相応しい、限定版の「ジスタンス鳳凰エディション」を発表。

元々、このジスタンスW5Sは、オートドックスな5本スポークを採用しつつ、現在の主流となっているホイールデイスクを大きく見せるO/Hと呼ばれる組み込み方法だった。逆に、リムの存在感を増して往年のスタイルを踏襲できるS/Wと

いう方法で、多種多様な表現を教えてくれたホイールだった。

鳳凰エディションでは、表面処理をパフフィニッシュ、またはブラッシュド仕上げ、センターキャップには和風以外の言葉は当てはまらない、黒金と赤金というVIPの定番カラーを採用。しかも、インナーリムをブラックとすることで、アウト側から見える雰囲気も、遊びやかさと厳かさを融合。VIPのためだけに生まれたような気持なのだ。

鳳凰の名の通り、日本文化の伝統的シンボルになりうる、歴史に残るホイールになるのは間違いない。